



# HealthHub Platform

患者↔医療機関↔読影医をつなぐプラットフォーム

2025年 7月

# CONTENTS

---

FOR



**NAGASE**

Delivering next.

**Chapter 1. About HealthHub**

**Chapter 2. Health Information Exchange**

**Chapter 3. Pilot Project ; Smart Eye**

Chapter. 1



# About HealthHub

“HealthHubは、グローバルな医療分野におけるデジタルイノベーションをリードし、医療従事者と患者の双方に、より良いヘルスケア体験を提供します。”



## 10年以上蓄積されたデータや信頼、成果

2025.06.



韓国内遠隔読影の  
マーケットシェア



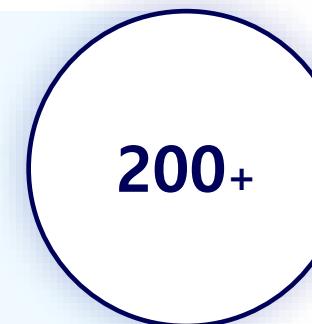
クライアント  
病院数



年間読影件数



累積読影件数



プラットフォーム内の  
読影医数

主要協力機関



제주대학교병원  
JEJU NATIONAL UNIVERSITY HOSPITAL



울산대학교병원  
ULSAN NATIONAL UNIVERSITY HOSPITAL

H+ 양지병원

서울88  
영상의학과  
심장혈관외과  
의원



KNUH  
경북대학교병원  
KYUNGPOOK NATIONAL UNIVERSITY HOSPITAL



RSUP. Dr. M. HOESIN  
Palembang - Sumatera Selatan



RS PAD Gatot Soebroto  
Where Nation Heals For Heroes  
"With smile and care we are ready to give the best"



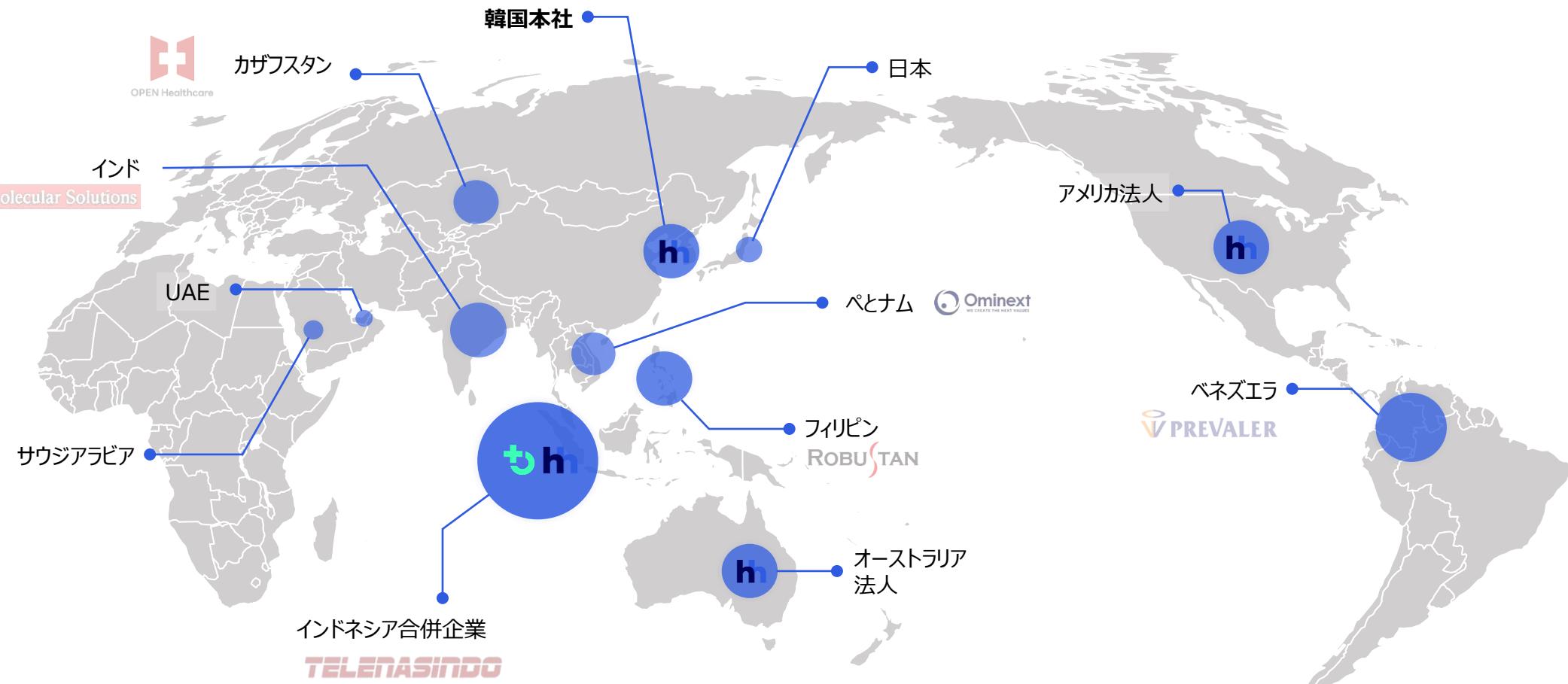
RSUD dr. Chasbullah  
Abdulmadjid  
Kota Bekasi

PREVALER



HIPTEK

## 国々の医療環境に合わせた柔軟性・拡張性を持つSaaS仕組み



Chapter. 2



医療情報交換

# HealthHubのHIE

# h HealthHub

# h HPACS

Web-based On-Premises PACS

セキュリティ対策と  
安全性に配慮した  
院内向け医療画像ビューアー

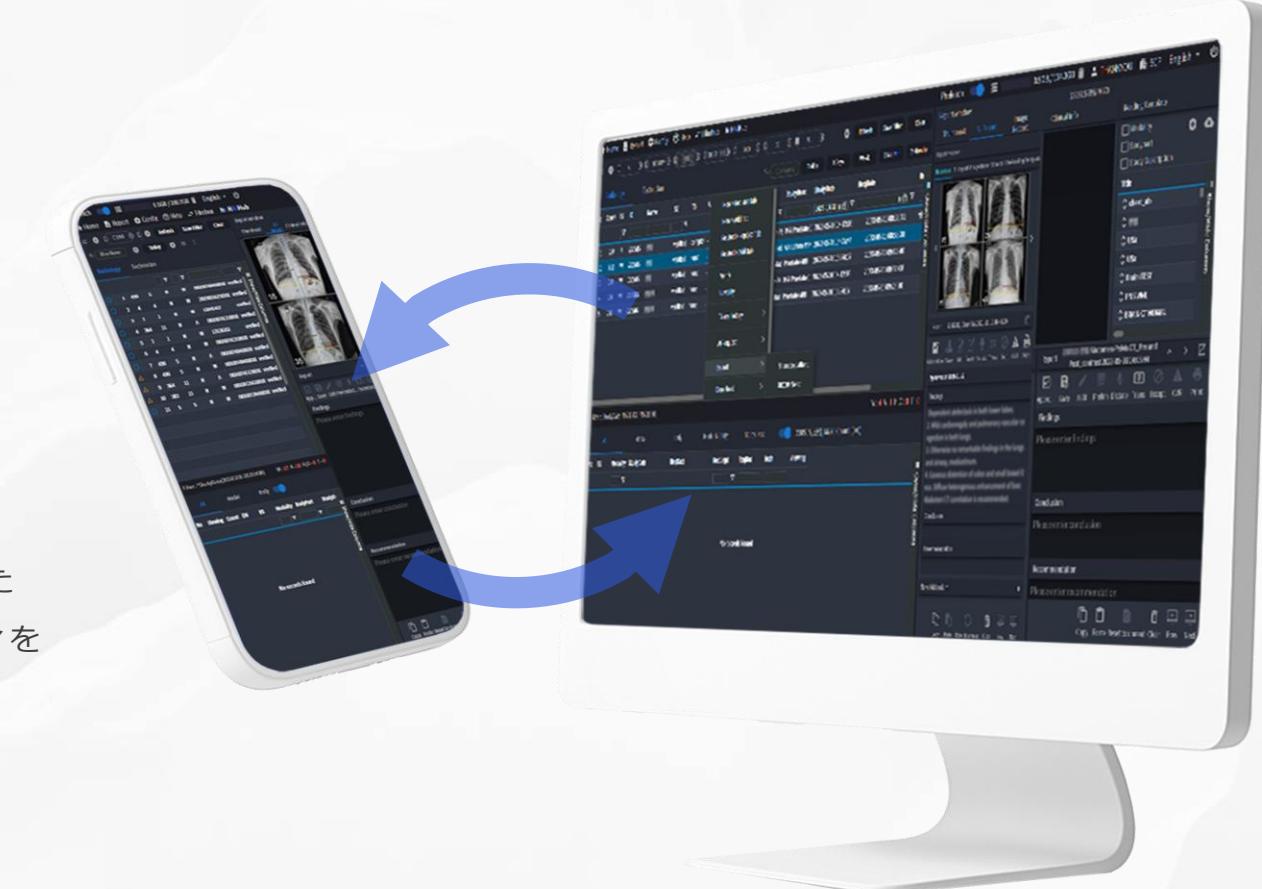


# h HPACS

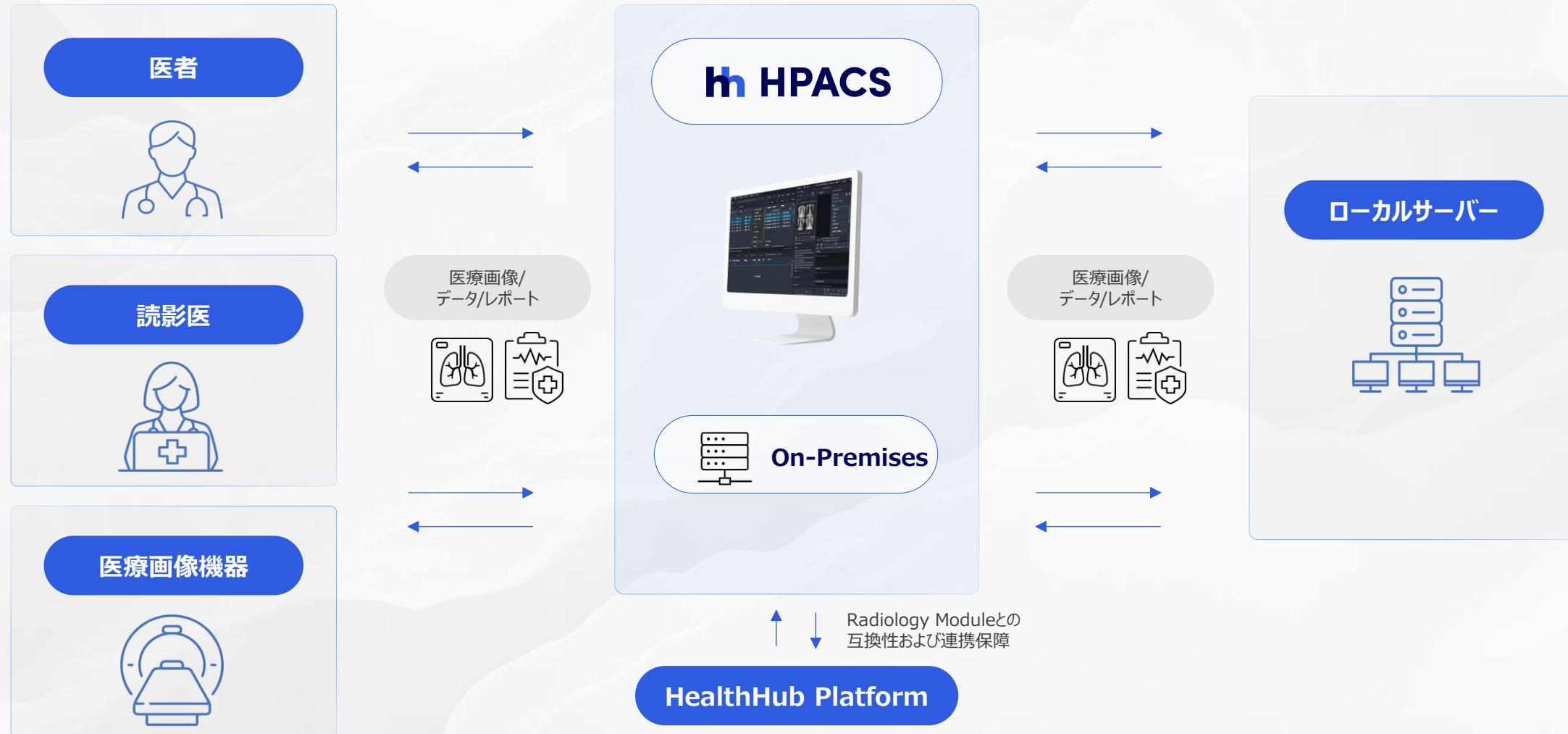
Web-based On-Premises PACS

院内の医療画像データを  
完璧に制御するソリューション

病院インフラ内で医療画像データを完全に制御・管理できるよう設計された  
「HPACS On-Premises」は、高度な統合機能によってデータセキュリティを  
最大化し、厳格な地域規制の順守および既存システムとの完全な統合を  
保証する、機関主導型ソリューションです。



# 機関独自のサーバー／インフラ環境で医用画像データを厳格に運用



# h HealthHub

# h HPACS

Cloud-based SaaS PACS

Global Cloud-based SaaS  
医療画像ビューアー



**h** HealthHub

**h** HTeleRad

遠隔読影に最適化した  
モジュール型All-In-Oneソリューション



# h HTelRad

検査依頼から読影、精算まで  
ワンストップ<sup>®</sup>統合管理できる専門プラットフォーム

HTelRadは、検査依頼から読影、精算までワンストップで統合管理を提供する専門ソリューションです。

10年以上の経験と、グローバルで1,300以上の医療機関への導入実績により、その性能と安定性が証明されています。読影医および読影医の業務最適化と読影品質の向上に貢献します。

The screenshot shows the HTelRad software interface. At the top, there's a navigation bar with 'English', '한국어', '简体中文', 'Logout', and other user icons. Below it is a 'Referral List' section with various filters like 'Reading Doctor', 'Status', and 'Modality'. The main area displays a table of referrals with columns for Request Time, emergency, Status, Study Description, Patient Id, Patient Name, BirthDate, Sex, Modality, BodyPart, Filming Date, Chief Complaint, Log, Image Count, and Imaging Center. A large blue callout box labeled 'MODULES' points to the 'HRPM' section of the table. Another blue callout box labeled 'Radiologist Portal' points to the 'Radiologist' column in the table. A third blue callout box labeled 'Hospital Portal' points to the 'Hospital' column. The bottom right of the table has page navigation controls.

## As-is

1. 医療データの交換が**手作業**で行われる
2. 読影の割り当てが**手作業**で行われる
3. 清算・タスク管理が**手作業**で行われる

コーディネーターへの依存度が高い



## To-be

1. 医療データの交換が**自動的**に行われる
2. 読影の割り当ての**6割以上**は**自動化**で**専門分野・日程**に合わせ行われる
3. 清算・タスクのステータスが**一目**でわかる

遠隔読影の全サイクルを最適化

物理的・時間的・経済的な負担の軽減

デジタルトランスフォーメーション

# 医療機関・読影医・遠隔読影センターとの間のリアルタイム協業



# 遠隔読影に特化した直感的なユーザーインターフェース

- 統合ダッシュボード
- スマートフィルターおよびサーチ機能
- リアルタイムステータスマニタリング
- 読影ケースの詳細情報の確認
- 応急読影
- タスクショートカット機能
- 多国語のオプション提供



# 高度化された技術ベースの遠隔読影に特化したソリューション

リアルタイム  
協業



リアルタイムモニタリングレポートのアップデート

優れたアクセス性



時間・場所に関係なく  
アクセス可能

All-In-One  
ソリューション



モジュール型の  
単一プラットフォーム

Smart  
Assignment



専門分野ベース  
スマート割り当て

コーディネーターの  
業務の最小化



ワークフローの  
全サイクルの自動化

一目でわかる  
ダッシュボード



ダッシュボードにて  
主要指標を確認

# hh HScan

オンラインで患者の医療画像  
発行ソリューション

hh HealthHub

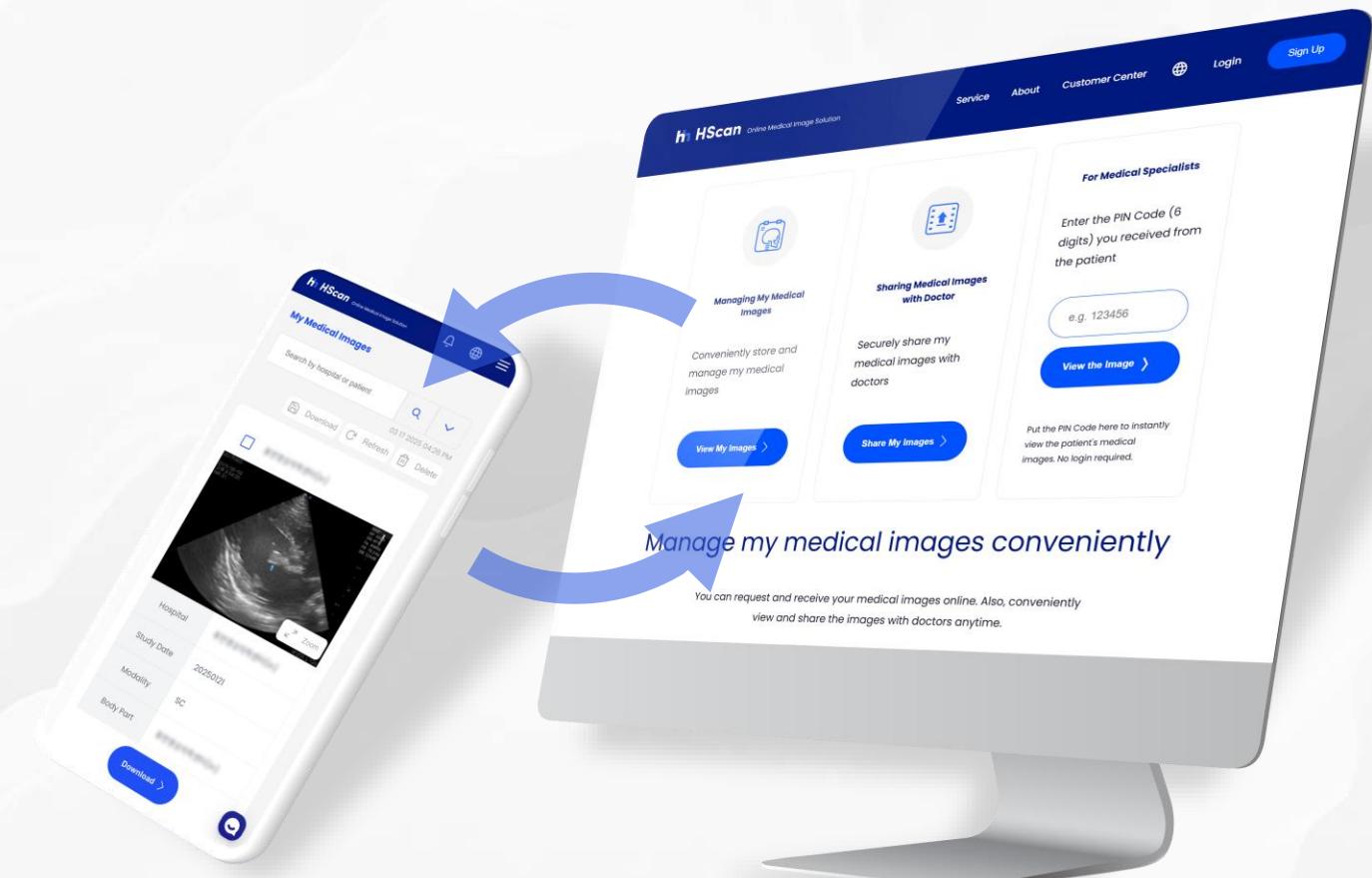


# h HScan

オンラインで簡単に  
患者中心の医療画像データ  
発行・管理プラットフォーム

HScanを使えば、どなたでも医用画像をオンラインで簡単にリクエストし、  
閲覧できます。

患者と医療従事者の間でやり取りされる医療画像や健康情報は、  
HScanを通じて安全に保存され、効率よく共有・管理されます。



# 患者・医療機関をつなぐ医療画像共有ソリューション



# 病院・患者全員が不便なCD/DVD発行システム

## 不安定なセキュリティ対策・政策のリスク

- 個人情報の漏れの可能性
- データ紛失または破壊のおそれ
- CD/DVDの在庫管理・保管費用、管理費用
- ESG 経営に反する大量の廃プラスチック類の発生

## 協業・診療連携の制約

- 他病院のデータ発行手続きによる遠隔読影の遅延
- 医療機関同士の情報連携の限界
- 再診および次回の診療時の資料不足

## 複雑尚且つ非効率的な画像交換

- 検査後CDの受け取りまでの待機時間
- ソフトの間の互換性不足およびCDコピーの失敗のおそれ
- 画像 Matching および確認作業の繰り返し
- 画像発行の直後マニュアルで登録および処理必要

## 医療現場の業務負担

- 医務室および人力の業務負担
- 手作業の手続きに伴う負担増加
- 画像登録の遅延による診療の影響
- 待機時間の増加による患者の不満

たとえば・・・

The screenshot shows the 'My Number Portal' interface. On the left, there's a sidebar with icons for Home, Things to do, Search, Menu, Maintenance information, Language, and a large blue 'Login' button. The main area has two sections: 'Proof' and 'Healthcare'. The 'Proof' section contains four cards: 'My Number Card' (with a small icon of a card), 'Health Insurance Card' (with a small icon of a card), 'Driver's License' (with a small icon of a license), and 'Passport' (with a small icon of a passport). There's also a link 'View all'. The 'Healthcare' section contains three cards: 'Medical Expenses' (with a small icon of a receipt), 'Medicines' (with a small icon of a pill bottle), and 'Vaccination' (with a small icon of a syringe). Below these is a large button labeled 'Medical Images'. At the bottom, a red note says '※PHR connection example'.

- 国民の健康データの安全かつ効率的な管理
- 医療機関間の情報連携および診療の継続性強化
- デジタルヘルスケアの標準化と発行の手続きの効率化

**h HScanは、国の方針や現場ニーズにしっかり対応したソリューションです**

プラスチック(CD/DVD) 使用の削減

SDGs（持続可能な開発目標）への貢献

環境にやさしいデジタルヘルスケアの基盤整備

# Pilot Project : Smart Eye

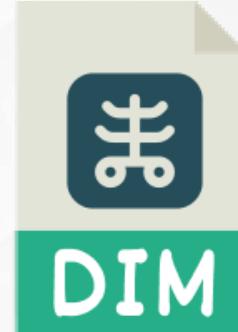
## Smart Eyeの概要



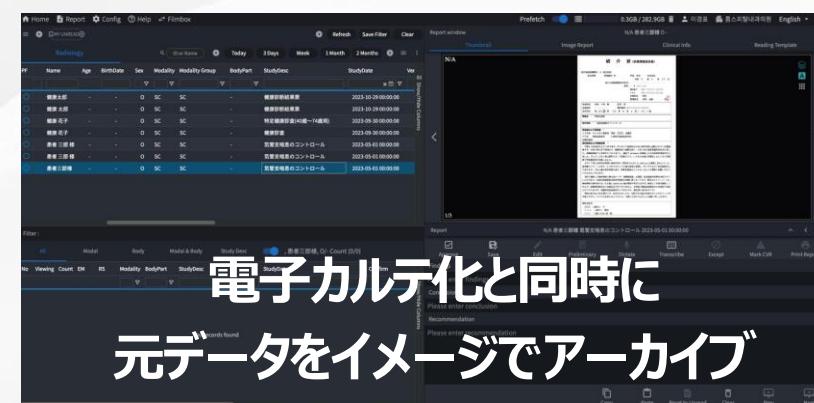
様々な  
フォーマットのデータ



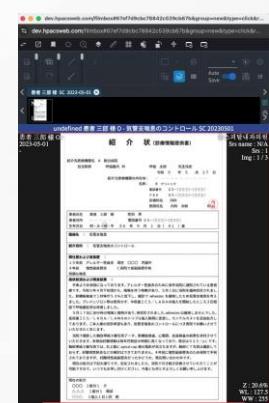
**Smart Eye**  
OCR & コンバート



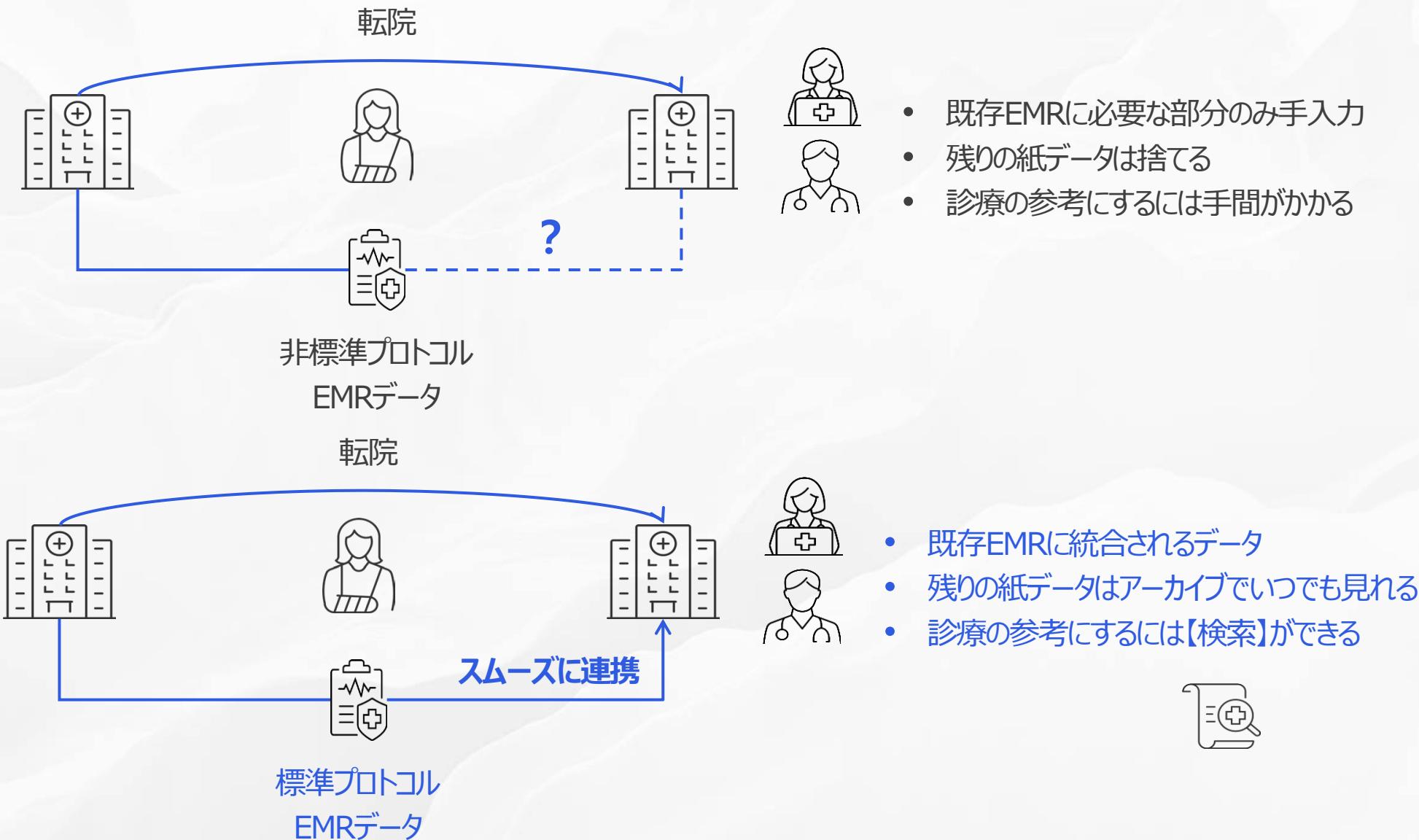
**h** HAIHub  
**h** HTeleRad



電子カルテ化と同時に  
元データをイメージでアーカイブ



## Use Case



**紹介状 (診療情報提供書)**

紹介先医療機関名 A 総合病院  
担当医師 呼吸器内科 呼吸 太郎 先生待史  
令和5年5月27日

紹介先医療機関の所在地：  
名称：B クリニック  
電話番号 03-XXXX-XXXX  
FAX 03-XXXX-XXXX  
診療科名 内科  
医師氏名 内科 次郎 印刷

患者氏名	患者 三郎 様	性別	男
患者住所	—	電話番号	03-XXXX-XXXX
生年月日	明・大・昭・平 56年9月1日(41歳)		
既往歴	気管支喘息		
紹介目的	気管支喘息のコントロール		
既往歴および家族歴	10年前 アレルギー性鼻炎 現在〇〇内服中 4年前 慢性副鼻腔炎 C病院で鼻副鼻腔手術 母親も喘息		
病歴経過および検査結果	平素よりお咳がでています。アレルギー性鼻炎のために長年当院に通院されている患者様です。令和5年1月下旬から、喉鳴を伴う咳があり、5月1日に当院を訪問受診されました。肺機能検査で一秒率が35%と低下し、臨床で wheezes を聴取したため気管支喘息を考えました。ブドウソウ等は使用せず、中用量ICS/LABAの吸入を開始したところ3日程度で呼吸状況は改善しました。 5月17日歩行時の喘鳴と微熱があり、再受診されました。wheezes は聴取しませんでした。高用量ICS/LABAのトライアル吸入剤に変更し、モンテルカストを追加処方しております。ご本人様の受診希望もあり、気管支喘息のコントロールにつき貴院でお願いさせていただたく存じます。		
当院で撮影した胸部単純X線写真データ、肺機能検査、心電図、血液検査の結果を添付させていただきます。末梢血好酸球数は毎年花粉症の時期で高くなっています。直近は20μLです。胸部単純X線写真では、右上葉に apical cap の陰影が目立ちますが、胸部CT写真は撮影しておらず、好酸球性副鼻腔炎などの検討はしておりません。4年前に慢性副鼻腔炎のため他院で手術されておりますが、好酸球性副鼻腔炎だったかどうか、現在問い合わせ中です。			
現在の処方	現在の処方		

〇〇〇 1錠分1タ  
△△△ 1錠分1回前  
◇◇◇ 1錠入り1回朝

**診療情報提供書**

紹介先医療機関 東京大学医学部附属病院眼科 年月日  
医療機関名・所在地 〒113-8651 文京区本郷7-3-1  
https://odaigan.aip/

□緑内障 □角膜炎 □黄斑網膜炎 □白内障 □硝子体外炎  
□神経 □斜視弱視 □眼瞼痙攣 □指定無し  
(該当する専門外来がございましたらチェックをお願いします)

眼科 外来担当医 実年  
※もし複数氏名ございましたらご記入下さい。

フリガナ	生年月日	年月日	先生
患者氏名	(歳)	男・女	
紹介目的			
病名(主訴)			
既往歴			
病状経過 治療経過 検査結果			
現在の処方			

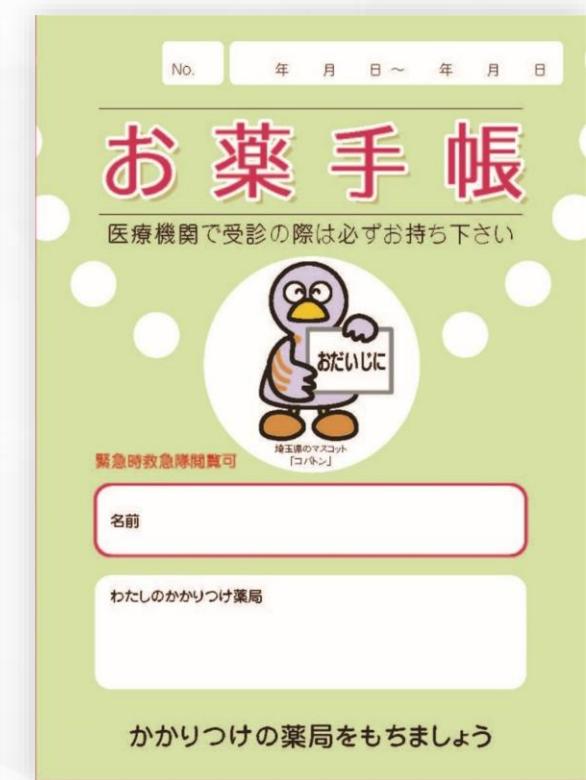
**別紙様式2 訪問看護の情報提供書** 令和3年4月30日

○○区保健所〇〇〇課 殿  
名称 ○○訪問看護ステーション  
住所 東京都○○区〇〇1-1-1  
電話番号 03-XXXX-XXXX  
管理者氏名 ○○ ○○

以下の利用者に関する訪問看護の情報を提供します。

利用者氏名 ○○ ○○
性別(男・女) 生年月日 明・大・昭・平・令 55年11月11日生(41歳) 職業 無職
住所 東京都○○区〇〇2-2-2
電話番号 (03)1111-1111
主治医氏名 ○○病院 ○○ ○○
住所 東京都○○区〇〇3-3-3
主傷病名 アルコール依存症
日常生活の状況 1. 食生活、清潔、排泄、睡眠、生活リズム等について 不規則な食生活や夜間不眠になりやすいが、飲酒に頼ることはない。概ね生活リズム安定している。 2. 認識等の状況について 訪問看護が担当カレンダーにセットして管理している。飲み忘れなし。 3. 作業(仕事)、人間関係等について ほとんど外出することはない。対人は同居の娘と訪問看護スタッフが主。
要介護認定の状況(該当する事項に○) ①要支援(1 2) ②要介護(1 2 3 4 5) 1月当たりの訪問日数(訪問看護費明細書の実日数を記入すること) 4日
家族等及び 主な介護者 に関する情報 小学生の娘と二人暮し。夫とは離婚。親族との付き合いはほとんどなし。 日常生活は自立している。
看護の内容 心身状態の観察、不安などを傾聽、食事・睡眠状況の確認、服薬管理・介助 飲酒の有無を確認
必要とされる保健福祉 サービス 訪問看護、
その他特記事項 ゆくゆくは園に就きたい希望があるが、まずは外出頻度を増やすことから始めていく。 娘との関係性は良好。

【記入欄の注意】  
1 必要がある場合には、続紙に記載して添付すること。



紹介状からお薬手帳まで、Smart Eyeで医療情報の文字化＆電子カルテ化ができる

```
only code(): {
  "(0010,0020)": "", 
  "(0010,0010)": "患者 三郎 様",
  "(0008,0020)": "", 
  "(0008,1030)": "気管支喘息のコントロール",
  "(0042,0010)": "紹介状 (診療情報提供書)",
  "(0008,0080)": "B クリニック"
}
```

```
only code(): {
  "(0010,0020)": "", 
  "(0010,0010)": "患者 三郎 様",
  "(0008,0020)": "", 
  "(0008,1030)": "気管支喘息のコントロール",
  "(0042,0010)": "紹介状 (診療情報提供書)",
  "(0008,0080)": "東京大学医学部附属病院眼科"
}
```

```
only code(): {
  "(0010,0020)": "", 
  "(0010,0010)": "55年 11月 11日生",
  "(0008,0020)": "20230430",
  "(0008,1030)": "訪問看護の情報提供書",
  "(0042,0010)": "訪問看護の情報提供書",
  "(0008,0080)": "oo区保健所oooo課"
}
```

```
only code(): {
  "(0010,0020)": "", 
  "(0010,0010)": " ",
  "(0008,0020)": " ",
  "(0008,1030)": " ",
  "(0042,0010)": "お薬手帳",
  "(0008,0080)": " "
}
```

## HscanとSmart Eyeを導入することで…

	AS IS	TO BE
医療データの管理&共有	医療画像・カルテなどのデータが紙、CD、個別EMRに分散 患者↔医療従事者↔機関間データ交換の業務負担が大きい CD/DVDの紛失・破損・再診断など患者の苦労発生	医療画像・各種データがプラットフォームで安全に共有される Web・モバイル環境で誰でも簡単に、効率よくデータ交換 CD/DVDなしで直接医療データ管理、接近性が大幅に向上
業務の効率性	CD/DVDの制作・保管に業務の負担やコスト発生 手入力やアナログ資料による長い所要時間	クラウドベースでコスト軽減 OCRおよび電子カルテ化により手入力を最小限に抑える
データの標準化	医療機関のデータフォーマットが併用される状況 政府の政策および個人情報の規制の対応に限界	DICOM・HL7など標準フォーマットに変換・管理 政策と連携し、個人情報の規制に迅速に対応可能
ESG	CD/DVDの物理メディアの使用 プラスチック・紙のごみ発生	デジタルトランスフォーメーションによる資源節約 エコフレンドリーでESG経営の実現、社会的責任強化

患者にも医療従事者にも「シームレスな医療の連続性」で応えられる環境づくり

**01 スムーズなシステム連携**

- レガシーシステムとの統合は不要
- 紙ベース・デジタル両方の既存患者データを活用可能

**02 迅速なシステム導入**

- 既存のプラットフォームやソリューション（HealthHub HIEプラットフォーム、PACS、PHR）を活用
- 追加開発は最小限

**03 幅広い適用事例**

- 患者自身による管理が可能
- 医療機関・医療従事者間での情報共有と連携診療を実現

**04 柔軟な拡張性**

- プラットフォーム中心の多様な用途への拡張が可能
- クラウドベースシステムで、最小限の導入でスケーラビリティを実現

**05 幅広いユースケースへの対応**

- 患者自身がデータを管理
- 医療機関・医療従事者間の情報共有と協働診療をサポート



## サンプルの種類

ID	サンプル名	トータル ページ数
S1	紹介状	3
S2	おくすり手帳	4
S3-1	検体検査結果	4
S3-2	生理検査結果	7
S4	健康診断記録	18
<b>合計</b>		<b>36</b>

**BEST****100%**

- システム化されたデータ

**検査報告書**

検査番号: 502800-23231	検査名: 植田医療	医療機関名: 植田医療
性別: 男 年齢: 87 歳 外来	性別: 女 年齢: 87 歳 外来	
生年月日: 11月 4日	生年月日: 11月 4日	
性別: 男 年齢: 87 歳 外来	性別: 女 年齢: 87 歳 外来	
検査項目: 血液学 (20)	検査項目: 血液学 (20)	
結果: ESR: 7.5	結果: 総蛋白: 6.5-8.0	
結果: CRP: 0.4	結果: 糖尿病: 0.2-1.0	
結果: AST (GOT): 38	結果: ALT (GPT): 5-42	
結果: ALAT (GPT): 18	結果: LD (LDH): 100-340	
結果: γ-GT: 34	結果: γ-GT: 7-74	
結果: CK (CPK): 234	結果: CK (CPK): 213-501	
結果: 尿酸: 5.8	結果: 尿酸: 5.8-7.0	
結果: 尿素窒素: 24.1	結果: 尿素窒素: 8.0-20.0	
結果: クレアチニン: 2.11	結果: クレアチニン: 0.50-1.00	
結果: eGFR (CKD-EPI): 23.1	結果: eGFR (CKD-EPI): 23.1	
結果: ナトリウム: 138	結果: ナトリウム: 138	
結果: クロール: 103	結果: クロール: 98-108	
結果: カリウム: 4.5	結果: カリウム: 3.6-5.0	
結果: カルシウム: 9.1	結果: カルシウム: 8.8-10.4	
結果: P (無機リン): 3.9	結果: P (無機リン): 2.5-4.4	
結果: HDLコレステロール: 55	結果: HDLコレステロール: 40-98	
結果: LDLコレステロール: 52	結果: LDLコレステロール: 70-139	
結果: TG (TG): 0.8	結果: TG (TG): 1.0-5.0	
結果: 脂肪コレステロール: 123	結果: 脂肪コレステロール: 130-220	
結果: 中性脂肪: 44	結果: 中性脂肪: 30-149	
結果: グルコース: 85	結果: グルコース: 70-110	
結果: CRP(定性): (+)	結果: CRP(定性): (-)	
結果: CRP(定量): 0.08	結果: CRP(定量): 0.08	
末梢血像5分類: NEUT	末梢血像5分類: NEUT	
結果: 好中球: 52.2	結果: 好中球: 37-70	
結果: 好酸球: 0.3	結果: 好酸球: 0-5	
結果: 好塩基球: 0.7	結果: 好塩基球: 0-1	
結果: 單球: MONO	結果: 單球: MONO	
結果: リンパ球: L	結果: リンパ球: L	
結果: Hb: 9.7	結果: Hb: 9.7	

高知 (088)883-5535  
校正責任者: 西岡唯一  
最終: P.1 SCK 502800-0420306 最終: P.1

**WORST****最低正確度 79.45%**

- 不明確な角度、薄暗い照明

**正確性: 約79.45%**

項目	フィールド数	正確性
合計フィールド	216	
除外フィールド	70	
正確なフィールド	116	
不正確なフィールド	30	
<b>正確性</b>		<b>79.45%</b>

**実際のテスト結果****プリントサンプル**



実ユースケースを用いたパイロットプロジェクトの選定

要望の収集および分析



## 医療現場への導入のために

### PHASE 1

1~2ヶ所の医療機関にて  
パイロットプロジェクトを推進

### 検証完了

適用可能性の  
確認

### PHASE 2

実際の候補機関に対し  
パイロット導入を提案・実施

Smart Eyeの適応可能性の確認およびAIの性能向上のため

1

PHASE 1

フェーズ	タスク	機関	タイムライン	詳細内容
パイロット プロジェクト	調査・データ収集	2週間	<div style="width: 50%;"><div style="width: 50%; background-color: #0072BD;"></div></div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際の環境・要件の分析</li> <li>NDA下での実データ収集</li> </ul>
	AIチューニングによる精度向上	3週間	<div style="width: 50%;"><div style="width: 50%; background-color: #0072BD;"></div></div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集した実データから学習データを設定</li> <li>Smart Eye AIのファインチューニング</li> </ul>
	導入・検証	4週間	<div style="width: 50%;"><div style="width: 50%; background-color: #0072BD;"></div></div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HHプラットフォームの導入</li> <li>顧客施設へのSmart Eye設置</li> <li>Smart Eyeとプラットフォームの検証</li> <li>フィードバック取得・実運用への適用計画策定</li> </ul>

PHASE 2

フェーズ	ステップ	詳細内容
ロールアウト プラン	ロールアウト計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>適用候補機関のリストアップと現場調査</li> <li>スケジュールの設定</li> </ul>
	プラットフォーム準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラットフォームの確認と機関アカウント設定</li> <li>Smart Eyeの機関へのインストール</li> </ul>
	トレーニング・試験運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザートレーニング</li> <li>試験運用による実現可能性の確認</li> </ul>
	機能アップグレード・再設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィードバック・要件に合わせた機能アップグレード</li> <li>ユーザー再トレーニング</li> <li>本番稼働スケジュール設定</li> </ul>
	本番稼働（ローンチ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークフローや取引のモニタリング</li> </ul>

# ご清聴ありがとうございました

**HealthHub Co., Ltd.**

- Web : [healthhub.kr](http://healthhub.kr)
- Email : [gbd@healthhub.kr](mailto:gbd@healthhub.kr)
- Address : 14F, 20, Mapo-daero, Mapo-gu, Seoul, Republic of Korea
- Tel : +82) 02-511-3601